



# ぐんま 幼児教育センターだより

第20号



## 教育や保育を支える「育ての心」

群馬県総合教育センター  
所長 宮内 伸 明

「幼児教育の父」と呼ばれた倉橋惣三先生の墓所には、「自ら育つものを育てようとする心 それが育ての心である世の中にこんな楽しい心があるか」と刻まれた句碑があるのだそうです。

末娘がまだ3歳の頃だったように思います。時代劇『銭形平次』を観ていたときのことでした。隣にいた娘が、「ネズミが出たん？」と唐突に聞いてきたのです。テレビの中では北大路欣也扮する銭形親分が殺しの現場と思われる座敷の畳を持ち上げているところでした。

「そうじゃないよ。ここで人が死んじゃったんだよ」という私の声が耳に入らなかったかのように、再び「ネズミが出たんだ」と念を押す娘。一番の見所なのに何を訳の分からないことをと、少しいライラしながら娘の顔をよく見ると真剣そのもの。そこでようやく一か月前のことを思い出しました。

同僚のALTから「ネズミが出るので駆除してほしい」と依頼され、父と共に三人の子どもを連れて彼女のアパートを訪ねたことがありました。私と父は、天井裏を覗いたり、畳を上げて床下を調べたりしながら殺鼠剤を置いて回ったのです。子どもたちは親戚の家にも来たかのようにはしゃぎ回っていましたが、末娘はそこで目にした「畳を上げる」という動作を、「ネズミ捕り」としてインプットしたようです。その後、二つの行為が必ずしも結びつかないということを、どのように説明したのかは覚えていませんが、知らないうちに子どもの「自ら育つもの」を摘んでしまっていることがたくさんあるのではないかと不安な気持ちになったことは記憶に残っています。

この7月、政府の教育再生実行会議は、「幼児教育の段階的な無償化や義務教育化の検討」を盛り込んだ学制改革についての第5次提言を安倍総理大臣に提出しました。また、来年の4月からは、「子ども・子育て関連3法」が本格施行されます。いずれも幼児教育の重要性に鑑み、質の高い教育や保育を提供することがねらいであると思いますが、制度がどのように変わろうとも、日々の教育や保育を支えるのは、好奇心の塊のような幼児一人ひとりの心にしっかりと寄り添い、必要な環境を意図的・計画的に構成しながらよりよい成長を促そうとする指導者の「育ての心」であることに変わりはありません。

当総合教育センターにおいても、先生方が「育ての心」を存分に発揮しながら「教育や保育」を思い切り楽しんでいただけるよう、各種研修会や講座等の一層の充実に努めていきたい、と思いを新たにしているところです。



# 家庭教育充実のための地域で取り組む 子育ての支援者研修会

幼児教育センターでは、今年度、家庭教育の充実を目指し、地域で活躍する子育て支援者のスキルアップを図ることを目的にした研修会を3回開催します。

第1回目は、7月15日(火)に実施しました。

「親学の大切さ」講師 東京福祉大学講師 八重樫節子先生  
「絵本と手遊び」講師 明和学園短期大学元教授 田子 文子先生



八重樫先生からは、親も子育てを通して成長することやそのサポートの重要性について、具体例あげながら、田子先生からは、絵本のよさや奥深さについて、たくさんの絵本を紹介しながら話していただきました。

当日は、保育士や幼稚園教諭、行政関係者、保健師、子育て団体や子育て支援センター関係者など様々な立場の方々が参加されました。

## <参加者の声>

- ・子どもにどう接していいかわからない親が増えている昨今、今日学んだ「親学」を少しずつ保護者に発信していきたいと思いました。
- ・子どものほめ方や子どもへの指示の出し方のポイントを具体的に教えてもらい、大変参考になりました。明日からすぐ実践してみようと思いました。
- ・今まで絵本は楽しいから読んでいましたが、絵本の中にある子どもの発達の様子や様々な大人の姿にも視点をあててみると、とても奥深いものなのだと思います。
- ・魅力的な絵本を紹介してもらい、帰りに本屋さんに寄りたくなりました。



## 今後の予定



### <対象> 各地域の子育ての支援者

幼稚園・保育所・認定こども園の職員  
各市町村の子育て支援担当者、子育て支援団体関係者等

<会場> 群馬県総合教育センター 4階 (伊勢崎市今泉町1-233-2)

第2回目 10月27日(月) 13:00~16:00

### 「子育ての支援をしていくために大切なこと」

前橋市児童文化センター

館長 塩崎 政江

前半では、講義を通して子育ての支援者として大切にしなければならないこと、子どもの見方や親の考え方などの基本的なことを学びます。後半は、「自分に今できることは何か」についてみんなで話し合いながら考えていきます。

第3回目 12月 1日(月) 13:00~16:00

### 「気になる子どもをかかえる保護者支援」

群馬県発達障害者支援センター

元所長 安田 淑美

気になる子どもをかかえる保護者の思いや立場を理解し、支援の在り方を具体例を通して学びます。

### 「親子で楽しむ工作遊び ー身近な材料を使ってー」

群馬県総合教育センター幼児教育センター 指導主事 佐藤 淳

親子で一緒に楽しめるような工作遊びを、身近な材料を使った実習を通して学びます。

参加を希望される方は、申込みを受け付けておりますので、幼児教育センターへ、電話またはFAXでお申し込みください。

詳細は、幼児教育センター Web ページでご覧いただけます。

<http://www.center.gsn.ed.jp/youji/index.html>



幼児教育センター

# 保育アドバイザーについて



保育所や幼稚園・認定こども園、子育て中の保護者等の研修や講演会に、保育アドバイザーを派遣し、幼児教育や家庭教育を応援しています。

Q 保育アドバイザーはどのような方ですか？

A 保育や教育の専門家です。経験、知識とも豊富です。



Q どのような内容の講演や研修会をお願いできるのですか？

A 保育、子育て等に関する内容全般です。

<内容例>

教職員向け	保護者向け
「遊びを深めるための幼児理解と援助の在り方」	「子どもの生活リズムと発達」
「保育士（教師）と保護者の関係づくり」	「子どもの意欲を育てる言葉がけ」
「幼小連携・接続について」	「親子のふれ合い遊び」
「気になる子どもの理解と援助」	「小学校生活のスタートにあたって」
「幼児の見取りと発達の理解」	「子どものほめ方・叱り方」
「幼児期にふさわしい環境の構成と援助」 など	「早寝・早起き・朝ご飯」 など

Q 保育アドバイザーの派遣に費用はかかりますか？

A 無料です。

ただし、2年連続での無料派遣はできません。

なるべく多くの方々に御利用いただくためですので、御理解願います。

Q 保育アドバイザーを派遣してもらうにはどうすればいいのですか？

A 次の流れで派遣します。

- ① 幼児教育センターに電話で、希望の日時や内容、講師などを御相談ください。  
⇒ **ご要望に沿った講師が決まりましたら、こちらから連絡します。**
- ② 派遣依頼書（「別紙様式1」※）をFAX又はメールで提出してください。  
⇒ **保育アドバイザーを派遣します。**
- ③ 保育アドバイザー派遣が終了しましたら、実施報告書（「別紙様式2」※）をFAX又はメールで提出してください。  
※「別紙様式1」「別紙様式2」は、幼児教育センター Web ページよりダウンロードできます。

群馬県総合教育センター 幼児教育センター

TEL 0270-26-9203

FAX 0270-26-9222

E-mail youji-edu@gsn.ed.jp

<http://www.center.gsn.ed.jp/youji/index.html>



## 平成26年度 保育アドバイザー

今年度の保育アドバイザーは次の13名です。

氏名	経歴等
田子 文子	元明和短期大学教授、公立幼稚園長・相談員経験者
森 静子	関東短期大学教授、私立保育園教諭経験者
井上 暁子	明和短期大学准教授、障害児施設の指導員等経験者
今井寿美枝	チャイルドハウスゆうゆう施設長、レクリエーションコーディネーター
布川 友世	保育園保育士・施設長経験者、明和短期大学講師
高橋恵津子	公立幼稚園長経験者、明和短期大学非常勤講師
八重樫 節子	東京福祉大学講師、養護教諭経験者
山西 加織	高崎健康福祉大学講師
安田 淑美	元群馬県発達障害者支援センター所長、臨床心理士
仁井田千寿	保育専門学校講師、キッズ・ジュニアエアロビック指導員
遠山ちづ子	公立幼稚園教頭経験者、学校相談員経験者
武藤久美子	小学校教諭経験者
井上 幸恵	小学校教諭経験者

## 平成26年度 幼児教育センター職員

職	氏名
センター長	都丸 千寿子
指導主事	坂口 淳子
指導主事	佐藤 淳
嘱託職員	徳田 容子



よろしくお願いいたします

